

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅶ(小児の疾病)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年前期	1	15
担当教員	伊藤 卓夫 真庭 聡	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 医師 ) <input type="checkbox"/> 無	

**【1】 授業概要**

健康や障害の状態に関わらず、すべての子どものとくちょうを理解し、発達段階各期にみられる特徴的な健康障害について理解する。そして、小児によくみられる疾患と症状、治療・処置を学ぶ。

**【2】 学習目標**

1. 子どもに起こりやすい健康障害の病態生理、症状、治療について理解できる。

**【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性**

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

**【4】 授業計画**

	内容	主な授業形態
1	小児の特徴(成長・発達)	講義
2	新生児・先天異常	講義
3	内分泌・代謝・栄養	講義
4	循環器・腎臓	講義
5	消化器・アレルギー	講義
6	血液腫瘍・感染症・ワクチン	講義
7	神経・筋疾患	講義
8	試験	

**【5】 評価方法**

筆記試験と、授業・学習への取り組みによる総合評価

**【6】 教科書**

丸光恵: 系統医学講座 専門分野 小児看護学 2 小児臨床看護各論 (第15版) 2025 (電子版)

**【7】 参考書**

随時紹介

**【8】 受講生へのメッセージ**

子どもに起こりやすい健康障害について学び、看護につなげましょう。